

## 報告書

### 第16回呼吸療法セミナーin 湘南

大会長 渡部和巨（米国呼吸療法学会国際部会 ICRC 日本責任者、東京西徳洲会病院院長）

日時：第1日目 2016年7月16日（土）

第2日目 2016年7月17日（日）

場所：湘南藤沢徳洲会病院

主催：日本医工学治療学会呼吸器分科会

後援：財団法人 日米医学医療交流財団

特定非営利活動法人 日本呼吸ケアネットワーク

呼吸療法認定士 60名限定のアドバンスト・コースを米国の最前線で指導している Lonny Ashworth 教授を招聘して、短期間ではありますが、米国の呼吸療法士が受けている実践的教育を受けてもらい、認定士の質向上が図られればと始めたこのセミナーも今回で16回目です。応募は年明けから始まりほぼ1ヶ月で定員となり、会は粛々と進み、さり気なく終了すると言った感じです。参加者のレベルも高く総合評価で高得点が目白押しで皆聞き合っています。この会は2006年から National Board for Respiratory Care (NBRC)に認定されています。1、日本でも呼吸ケアチーム加算が付き、看護協会認定 慢性呼吸器疾患看が認定看護師の一つに加わり、2013年の1月に行われた慢性呼吸器疾患認定審査を経て60名弱の認定看護師が誕生し、毎年約60名ずつ増えています。2、関係医学会6学会【日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会、日本呼吸療法医学会、日本集中治療医学会、日本生体医工学会】が後援し、「呼吸療法専門臨床工学技士認定制度」が2012年にスタートしました。少しずつではありますが、米国の呼吸療法士のようなしっかりしたものに近づいて行ければと思っています。三学会合同呼吸療法認定士は1996年に始まり2017年1月の時点で**43,463**人の合格者がいます。3、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会は新しい制度として呼吸ケア指導士制度という資格を医師、歯科医師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士・管理栄養士、薬剤師、放射線技師、言語聴覚士、臨床工学士、臨床検査技師、介護福祉士、その他の呼吸ケア領域で専門職種として活動できる立場の人を対象に導入。初級・中級・上級コースを設けてスキルアップをはかれるようにしています。対外的には日本の多くの組織を横断的・包括的にまとめた組織すなわち日本呼吸療法学会を作って行きたく、毎年の課題としています。が、まだ道半ばではあります。

プログラムは別紙です